



\*『ジャイモン』ネパール語で「主(神)を讃美しよう」の意

## ニュー・ホライズン・アカデミー(NHA)のビジョンと課題

21世紀の各国は、自国利益のための経済戦争の渦中にありながらも、第3世界の発展のために、いろいろと力を尽くしてきた。しかし、その主な政策は、環境問題、AIDSのような疾病予防と治療、貧民救護と緊急災害時の救護といった問題解決事業であったことも事実である。幸いに、最近はそのような単純支援でなく、長期的な視野を目的として、鉄道、道路、港湾のような社会資本の支援・投資が始まっていることは鼓舞的なことと言える。

しかし第3世界各国の発展のためには、看過されやすい基盤事業の一つに教育分野がある。なぜなら教育は100年事業だといわれるからである。ネパールの発展のためには、教育分野の発展が伴わなければ意味がない。ある社会事業家は、「陸橋を建設したが、道路を横断せずに陸橋を渡るようになるまで25年かかった」と言った。それは単純な施設支援をもって終結とするのではなく、政治的な安定によって法律が強化され、国民が教育により遵法精神と道徳精神を学び、それを遵守するようになるまでには、多くの歳月と努力が必要ということである。

このような教育の重要性を鑑みて始めた学校がNHAである。但し、NHAは単に学問的な名門校になることではない。NHAのビジョンは、次のとおり明確である。

神の愛を基礎に、精神的、社会的、身体的、教育的にバランスのとれた発展をなし、ネパール全域に世界的なビジョンを持った指導者を養成することである。

### (1) 精神的発展は、人の根のような部分である。

なによりも神にあって善良な良心を持たせ、真に根源的な部分からの変化がもたらされるように育成すること。また自ら考え、分別することができるよう、そして合理的かつ創意的に精神分野を発達させることである。

### (2) 社会的発展がなくては、利己的で個人的な発展のみを招く。

「私」ではなく「私たち」を考え、隣人を思いやり、国を考える心を植えることである。

### (3) 身体的発展をとおして、健康で、快活な子供を育てることにある。

各種疾病にあまりにも多くの子供たちが晒されており栄養も運動も不足している。健康で快活な子供として育てることは、教育として必要不可欠な要素である。

### (4) 教育的発展なくして国家的な発展はない。

優秀な人材は国家の財産である。NHAは、現在までに2度に渡って卒業生を輩出し、SLC(School Leaving Certificate: 中等教育終了資格)試験で全員が特等級と1等級の成績を修めた。今後も続けて良い成績が得られるようにし、2020年までにネパールの首都であるカトマンズ西部地域で最高の成績を誇る学校にすることが目標である。

### (5) 国際的なマインドを植え付け、大きな夢を持つ人材を養成することである。

井の中の蛙ではなく、世界を見ることのできる広い視野を持たせ、世界を抱くことのできる大きなマインドと夢を持たせることである。

このようなビジョン実現のために、既に施行していることは、次のとおりである。

(1) 精神的発展 神にある真の素養が持てるように、毎年1回「ビジョンキャンプ」を開催している。韓国から大学生、青年たちが来て、3週間の日程を通じ聖書を基礎にして神の愛を伝え、子供たちに希望と夢を育てる。また新任教師に毎年、バイブルスタディーを実施している。

(2) 社会的発展 卒業生全員に同窓会を設け、毎年1回の村掃除キャンペーンと、毎年1回学校に来て後輩たちを教える「1日教師」制度を実施している。

## 目次:

ニュー・ホライズン・アカデミーのビジョンと課題 1

ニュー・ホライズン・アカデミーのビジョンと課題 2

第2回卒業式挙行・優秀な2成績でSLC試験に全員合格

親の日フェスティバルに1500名3参加

サミル・マハリヤンの日常生活 4

質問箱 5

ネパール豆知識 5

支援者状況 6

新規に支援される子供たち 6

防球ネット等が整備される 6

編集後記 6

## ハイライト:

第2回 卒業式挙行  
優秀な成績でSLC試験に全員合格  
(2、3ページに写真を掲載)

親の日フェスティバル開催  
1500名参加  
(3ページに写真を掲載)

サミル・マハリヤンの日常生活  
(4ページに写真を掲載)

NPO法人 ブリッジズ・フォー・ネパール (BFN)

事務局: 〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町3丁目1番4号(鬼頭宅)

Tel/Fax 072-695-0513

URL: <http://www.npo-bfn.org>

**(3) 身体的発展** ネパールには普通、運動場はないが、NHAはBFNの助けを受けて、子供たちが思い切り駆け回ることができる安全な運動場を構築している。また教室前の広場を利用しバレーボールコートとバスケットコートを立て、喜んで遊べる球技空間を完成した。また2年に1度程度ではあるが、シンガポールや韓国から医療チームを招聘して、医療キャンプも実施している。

**(4) 教育的発展** 図書館、コンピュータ・インターネット室を作った。また朝晩、学内で特別授業制度により9学年生と10学年生はSLC試験の準備をしている。何よりも優秀な教師陣を確保するために、7名以上の大学院を卒業した教師を起用している。

**(5) 国際的なマインド** 韓国のKOPION団体から韓国語教師1名が派遣され、韓国語を定期授業時間に教えており、韓国国際飢餓対策機構や大学団体、そして日本のBFNを通じて訪問チームを迎えており、各国のスポーツ、文化、歴史、教育分野交流等、密接な関係を維持している。

このようにあらゆる努力をして運営しているが、更なる発展とビジョンの実現のために次のような課題がある。

**学校を運営するための持続的・安定的な運営資金** 優秀な教師を確保するための人件費、学習機材や施設の拡充、整備費などが不足している。生徒の多くは奨学金にたよっている。安定的な運営資金が必要である。

**学校経営の専門性を確保** 引き続き優秀な学校実績を作り上げるためには、韓国や日本の大学にNHA卒業生が奨学生として進学できる道を開くことも重要である。

**カレッジ(11~12年)の設置** 現在は、10学年までの運営をしているが、今後はカレッジを運営し、ただちに大学に進学することのできる道を開いてやることも重要である。これには、新たなる敷地、建物が必要となる。

**卒業生の就学支援** ネパール・カトマンズの優秀な大学との関係形成を通じてNHAの卒業生たちが優秀な大学に進学することができるように指導し、家庭の事情が苦しい学生たちにはNHAを卒業した後も持続的に支援することのできる制度拡張も必要である。

**生徒指導特別要員の育成** 子供一人ひとりについて家庭訪問をし、人格的・持続的に相談・指導できるシステムとスタッフ拡張も必要である。

一つ一つが簡単ではない課題である。しかし、心からネパールの子供たちの将来を信じ、愛してNHAを支援して下さる日本のNPO団体BFNが存在することは大きな力である。深く感謝の意を表したい。これからも互いに貴く持続的な協力関係を通じて、NHAが抱いているビジョンが確実に実現されることを神に願っている。

NHA代表相談役 崔根敏(チェ・グンミン)



## 第2回卒業式挙行、優秀な成績でSLC試験に全員合格(2010. 4. 23)

2010年4月23日、NHAは、第2回卒業式を執り行いました。全校生徒の前で卒業生は、BFNからプレゼントを受け取りました。そして、クシクシホテルでランチパーティーが開かれました。ランチパーティーでは、卒業生だけでなく先生たちも最後の別れを惜しみつつ最高の時を楽しみました。このような卒業式を行っているネパールの学校はNHAだけです。

そして、NHAから26人の卒業生全員が全国一斉のSLC試験を受けました。NHAとして2度目のSLC試験です。全員が1等級以上で合格することを目指して勉強してきました。卒業生は、期待以上の好成績でした。特等級7名、1等級19名でした。昨年に引き続き



き、とても優秀な成績で全員合格です。卒業生全員の顔写真入の大きな横断幕が町のあちこちに張られました。

卒業生は、さらに上級学校で勉強するために、元気良くNHAを去って行きました。未来のネパールを背負う若者たちの栄えある巣立ちです。



NHAの優秀なSLC結果を顕彰するネパール政府から贈られた表彰楯

## 親の日フェスティバルに参加者1500名!!! (2010. 7. 26)

NHAでは、親の日フェスティバルが毎年行われます。親の日フェスティバルは、親と生徒と学校の三者のバランスの取れた関係を確立するために行われます。三者がともに集まり、歌やダンスなど、さまざまな楽しいプログラムをもって祝われます。

主なイベントは、昨年一年間の学校運営・活動状況の報告、次年度の新しい計画と方針の発表、勉強や特別の活動に

傑出した生徒や先生を表彰します。親たちは、もちろん、近隣の学校や組織、政治団体からのお客様も招かれNHAと互いに緊密な良い関係を築きます。

今年親の日フェスティバルは、7月26日でした。プログラムは、本プログラムと文化プログラムに分かれています。朝10時から始まるので全員、朝早くから準備にかかります。FHI(国際飢餓対策機構)地域役員のパーク氏が主賓として招かれ、プログラムを執り行います。

本プログラムは、パーク氏がステージに上がって始まりました。生徒によって、バッジとカーラ(絹のマフラー)がお客様に渡されました。このあと、来賓の挨拶があり、ピーター校長から昨年の学校運営・活動状況の報告と来年度の新計画と方針が発表されました。中心的な呼び物は、先生、生徒への授賞式です。卒業生を含めて約100人の生徒が、来賓の挨拶のあとで表彰されました。参加者全員が大きな歓声をもって受賞者を称えました。

そして、いよいよ刺激的で面白い生徒たちによる文化プログラムです。二人の生徒が司会をしました。文化プログラムは、生徒による歌とドラマ仕立てのダンスです。ニューホライズンバンドがポピュラー音楽をドラムとギターで歌いました。ホラーダンスも最高の出来映えでした。特に幼稚園児のダンス、親たちや来賓を完全に魅了しました。二時間のプログラムは、あっという間に終わりました。このフェスティバルに約1500人が参加しました。



## サミル・マハリヤンの日常生活

子供の名前 :サミル マハリヤン

学 年:4年生

お父さんの名前:サンタル マハリヤン(故人)

お母さんお名前:マヤショリ マハリヤン

お母さんの仕事:工場労働者

サミルは、3年生からNHAで勉強しています。サミルは長男です。現在4年生で姉が一人います。哀しいことにお父さんは4年前に亡くなりました。



BFNの奨学生に選ばれたのは、3年生のときです。成績はクラスで中くらいです。サミルは、いつも7時に起き9時に寝ます。学校は10時から4時までです。学校から帰ると、おやつを食べてから外で友だちと遊びます。そして、夜、きちんと宿題をします。BFNの奨学金をもらったことがとても嬉しくて、奨学金を役立たせるように勉強を頑張ることを約束しています。

姉のメリーナ・マハリヤンによると、サミルは少し腕白で反抗することもあるけれど、暗記に強いので教えられることは、すぐ習得できるそうです。サミルは、よく外で友だちと遊び、時々親戚の家にも行きます。母親は、家庭をととても大切にしていますが、家計をまかなうため、小さな工場で働かなければなりません。母親が働いているので、姉のメリーナがサミルの面倒をみています。



サミルは、マチェガウン・キリスト集会の日曜学校に行っています。2～3週間休んだこともありますが、今はきちんと出席しています。

姉のメリーナは、11学年で勉強しています。

サミルの母は、BFNの里親(ドナー)にこのように感謝を表しています。「息子サミルのために奨学金をありがとうございます。里親のご親切な支援を忘れません。主人は、4年前に亡くなりました。それで女の私にとって経済状態を保つのは、とても困難です。主人の死後、収入がなくなったので、私は工場で働かなければなりません。私が朝早くから夜遅くまで一生懸命働いても困難なのです。もしこの支援がなければ、息子に勉強の機会はなかったでしょう。今、息子は親切な支援によって、こんなにいい英語の学校NHAで勉強することができています。ご支援をしてくださる方に心から感謝します。本当にありがとうございます。」

サミルの担任の先生の話では、「彼はおとなしくて、教室で余り話しません。しかし、学校の勉強も宿題もしっかりやっています。月例テストや一学期のテストもとても良かったです。ありがとうございます。」と喜びを表しておられます。





## 質問箱

### 質問:「支援事業の詳細について教えてください」

**回答** 支援事業については、BFN定款第5条に事業の項目を記載しています。

**未就学児の支援事業**・里親制度の骨幹をなす事業です。児童、生徒の親に代わって必要な教育費を学校に支払います。BFNの主な支援校のNHAは私立学校ですので、主に先生の給与、遠足、教科書など必要経費に充当されます。

**教育機関への支援事業**・劣悪な教育環境を改善するための事業です。学校の必要な備品・消耗品(コンピュータ、図書、理化学用品)やトイレの改修、黒板の整備などに充当されます。

**医療支援事業**・慢性的栄養失調や疾患の早期発見のために健康診断の実施や医薬品の購入のための事業です。現在、まだ実施しておりません。700名の子供たちに健康診断を継続的に実施するための費用が大きくなります。BFNは、設立して2年半しか経過していませんので、まず教育環境をしっかり整備することから始めています。しかし、今後、日本からボランティアの医師、看護師などの派遣も含めて積極的に取り組みたい事業です。

**啓蒙活動事業**・ネパールの教育状況を知っていただく広報活動のための事業です。現在、ホームページ、年2回発行の広報誌「ジャイモン」、各教会のクリスチャンに案内などを行っています。

今後の事業について、良きアドバイスやアイデアをお持ちの方は、是非ともご連絡ください。大いに参考にさせていただきます。

## ネパール豆知識 (これって知ってた?)

### ○ ネパールでは、クリスマスも祝日である。

ネパールと言えば、ヒンズー教の国家として知られているのに、どうしてイエス・キリストの生誕を祝うクリスマスが祝日になるのか不思議に思われるかも知れません。理由は簡単で、世界中で祝われているのだから祝うのが当然だからだそうです。ネパールは、太陰太陽暦のヴィクラム暦を採用しており毎年日付が変わります。主にヒンズー教の祭日が祝日となり、休みがとても多いのです。また、土曜日が日本の日曜日にあたります。一般の労働(学校を含む)時間は、午前10時から午後5時までです。日本人から見れば、もっと働けと言いたくなりますよね!!

4月14日	ネパール新年	10月17~19日	ティハール
4月24日	民主主義の日	10月24日	チャット・パルヴァ
4月25日	母の日	12月2日	ダネーシュヴァラ祭
5月1日	メーデー	12月25日	クリスマス
5月9日	ブッダ・ジャヤンティー	12月30日	タム・ロサール
5月29日	共和制記念日	1月15日	マゲ・サンクラーンティ
8月5日	ジャナイ・プルニマ	1月16日	ソナム・ロサール
8月13日	クリシュナ誕生日	2月12日	シヴァ・ラートリー
9月19日	ダサイン初日	2月19日	民主記念日
9月25~10月1日	ダサイン	2月28日	ホーリー

(参考:2009年4月~2010年4月(ヴィクラム暦2066年)の祝日)

上記のほかにも女性の日や地域の祝日もあり、またイスラム教の断食明け(イード・ル・フィットル)が9月下旬にもあります。

**支援者状況**

2010年度 (2010年4月～2010年9月)

2010年9月30日現在

区 分	人数・件数	金 額	備 考
正 会 員	14名	入会金 10,000円 月 額 3,000円	
賛 助 会 員	76名	月 額 2,500円	
スポット支援	17件	332,000円	

**新規に支援される子供たち 2010年度 (2010年4月～2010年9月)**

2010年9月30日現在

氏 名	学年・性別	氏 名	学年・性別	氏 名	学年・性別
アシュア アレ マガル	女 1年生	サムリン アディカリ	女 1年生	クリスマ シルワル	女 3年生
アリナ マハリヤン	女 5年生	ガリマ マリ	女 2年生	ラチャナ マハリヤン	女 5年生
サンドゥヒャ マハリヤン	女 6年生				

**防球ネット等が整備される！**

狭い校庭では、子供たちが蹴るボールが直ぐにフェンスを越えてしまう。貴重なボールもなくなってしまう。もっと力いっぱいボールを蹴りたい！おもいっきり遊びたい！そんな声を実現するために、高さ8mの防球ネットがBFNの支援で完成した。前庭にはバレーボールとバスケットボールコートもできた。子供たちの笑顔がまたひとつ増えた。



**編集後記**

今年も内外でいろんな出来事がありました。その中でチリ鉾山の作業員救出は、心に残る明るいニュースでしょう。閉じ込められた人を助けるために世界中の人々が、固唾をのむような思いで救出作業を見守りました。正に助ける者と助けられる者が心を通わせ一体となつての救出劇でした。

そのことを考えるとBFNとNHAの関係も同じであるかと思ひます。一方だけの努力で解決するものではありません。相手の立場を十分理解し、決して焦らず、無理をせず、有益な協力をすることが大切だと考えます。

これからも、皆様方の暖かい支援がより一層生かされるように努力して参ります。新しい年も引き続きご支援をよろしくお願ひします。